

第13回北海道大学脳科学研究教育センターシンポジウム

脳機能へのアプローチ： 解剖・生理・薬理・分子生物から

平成27年7月21日(火)

午後1時30分～午後5時30分(午後1時 受付開始)

北海道大学医学部学友会館フラテホール(札幌市北区北15条西7丁目)

主催:北海道大学脳科学研究教育センター

共催:北海道大学大学院医学研究科、大学院薬学研究院

入場無料・参加申込み不要

13:30-13:40 はじめに 渡辺 雅彦 (脳科学研究教育センター副センター長)

13:40-14:30

「脳発達とその破綻に学ぶ脳の機能基盤への新たなアプローチ」

佐藤 真 (大阪大学 大学院医学系研究科 解剖学講座 (神経機能形態学))

14:30-15:20

「補体 C1q ファミリーによるシナプス制御機構
—神経系と免疫・代謝系との接点?」

柚崎 通介 (慶應義塾大学 医学部 生理学 (神経生理))

15:40-16:30

「神経変性疾患に対する蛋白質のミスフォールディング・
凝集を標的とした治療戦略」

永井 義隆 (国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部)

16:30-17:20

「痛みによる負情動生成における分界条床核の役割」

南 雅文 (北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室)

17:20-17:30 おわりに 吉岡 充弘 (脳科学研究教育センター長)

企画担当:北海道大学大学院薬学研究院・薬理学研究室 南 雅文

連絡先:北海道大学脳科学研究教育センター (brain@med.hokudai.ac.jp, tel. 011-706-5022)